

なごやで探そう! カタツムリ

身近にすむ陸貝を、専門家と
いっしょに 調べてみませんか?

なごや生きもの一斉調査・2012 陸貝編

報告書

開催日 平成24年10月6日(土)、7日(日)、8日(月)

会場 名古屋市内33箇所



なごや生きもの一斉調査2012・陸貝編
ー なごやで探そう! カタツムリ ー
報告書

発行: なごや生物多様性保全活動協議会
(事務局: なごや生物多様性センター)
〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地
TEL.052-831-8104 FAX.052-839-1695
監修: 川瀬基弘 (愛知みずほ大学 人間科学部)

2013年3月発行
印刷: 三河屋55 by SPICY STAFF

発行: なごや生物多様性保全活動協議会
監修: 川瀬基弘 (愛知みずほ大学 人間科学部)



目 次

1	はじめに	1
2	実施概要	2
3	調査地点一覧	3
4	各調査地点の特徴	4
5	各種の解説	12
6	調査結果全データ	22
7	協力スタッフ一覧	24
8	謝辞・引用文献	25
<附録>		
1	名古屋市陸貝目録	26
2	陸貝図版	28



なごや生きものの一斉調査2012・陸貝編

— なごやで探そう！ カタツムリ —

報告書

発行：なごや生物多様性保全活動協議会

監修：川瀬基弘（愛知みずほ大学 人間科学部）

はじめに

2012年10月6、7、8日の3日間で名古屋市内全33地点の陸産貝類(陸貝)の一斉調査が行われました。市民参加型の陸貝一斉調査において、これだけ大規模に微小種の調査まで行った例は全国でも初めてです。これにより名古屋市内の陸貝の膨大な情報が得られました。なごや生物多様性センターが発行する「生きものシンフォニー5号」において調査速報を書きましたが、未同定標本の同定を全部終えて各調査地点の特

徴などを図表や写真などにまとめましたので報告します。

なお、この報告で使用する貝類の写真については必ずしも名古屋市内で採集された個体とは限りません。写真撮影の時間まで十分に確保できませんでしたのでご了承ください。できる限り愛知県内で採集された同種個体の写真を使用しました。

名古屋市内からこんなに沢山！

一斉調査による名古屋市内33地点から発見された陸貝は**41**種7,003個体で、都市化の進んだ名古屋市内でも豊かな自然が残されていることがわかりました。最も種数が多かったのは高座結御子神社(熱田区)と相生山緑地(天白区)の19種(各調査地点平均9.85種)です。陸貝の多様性

(多様度指数)が最大であったのは木ヶ崎公園周辺(東区)の3.10、次いで東山公園(千種区)の3.06(各調査地点平均1.95)です。最も多くの地点で確認されたのはオカチョウジガイ(30地点)、次いでイセノナミマイマイ(24地点)です。

ヨーロッパやアメリカなど外来種も続々！

外来種は国内移入種を含めると、**トクサオカチョウジガイ**(東南アジア原産)、**ノハラノシノシタ**(北アメリカ原産)、**ヒメコハクガイ**(北アメリカ原産)、**コハクガイ**(北アメリカ原産)、**チャコウラナメクジ**(ヨーロッパ原産)、**オナジマイマイ**(東南アジア原産)、**アズキガイ**(国内移入

種)、**ウスイロオカチグサ**(国内移入種、名古屋市初記録)など9種が発見されました。外来種が多いのは都市型生態系の特徴であり、既に分布を広げたこれらを取り除くのは困難ですが、更なる分布拡大を最小限にとどめ共存も考えなければなりません。

貴重なデータがどんどんと増加！

名古屋市で絶滅危惧種ⅠB類に指定されている**ヒルグンドルフマイマイ**、準絶滅危惧種(環境省)の**ヒメカサキビ**や**ヒゼンキビ**(名古屋市初記録)などレッドリスト掲載種6種、市内初記録として**タワラガイ**(細根公園(緑区))や**ビロウドマイマイ**(八竜緑地(守山区)と小幡緑地公園(守山

区))など4種が発見されました。また、市内では滅多に見られない山地性種の**ミジンヤマタニシ**が明徳公園(名東区)で発見されました。名古屋城外堀(中区)は**オオクマイマイ**が多産する最後の楽園であることもわかりました。

陸貝は生物多様性の“ものさし”

今回、調査参加者から「身近に1cmにも満たない微小な陸貝が沢山いて種類の多さに驚いた」という感想が多く寄せられました。陸貝は陸上の様々な環境に適応しています。自然度の高いところにしか生息しない種、乾燥に強い種、

市街地を好む種など、このような指標性から調査地の環境や自然度を診断することができます。陸貝はとても身近な親しみやすい生きものです。また、子供から大人まで誰でも気軽に探せます。そして今後も新しい発見が期待できます。

なごや生きものの一斉調査2012・陸貝編

－ なごやで探そう！カタツムリ －

実施概要

1 主 催

なごや生物多様性保全活動協議会

協 力：川瀬基弘（愛知みずほ大学人間科学部・協議会会員）

協議会会員をはじめ20の市民団体など

事務局：なごや生物多様性センター

2 内 容

市民と専門家が協力して、カタツムリ・キセルガイ・ナメクジなど名古屋市内の陸貝を一斉に調査した。スタッフの指導のもと、観察された陸貝の種類と数を記録する方法を採り、生きものに詳しくない方でも気軽に参加いただいた。

3 目 的

- (1) 身近なところにすむ生きものについてより多くの方に知っていただくとともに、なごやの自然について一層の関心を持っていただくきっかけとする。
- (2) 陸貝の地域ごとの分布や外来種の侵入状況を明らかにする。

4 開催日時

平成24年10月6日（土）、7日（日）、8日（月） 9時～11時30分

5 調査地点

名古屋市内33地点（一覧は次ページ）

6 参加者

計465名

7 調査の流れ

- (1) 事前リーダー講習会（9月1日、2日）
 - ・ 貝類の専門家（川瀬）による調査リーダー講習会を実施し、目視による調査のポイント、落葉や腐葉土からの採取方法、陸貝の同定方法や扱い方を講習。
 - ・ 調査リーダーは、計4回のうち1回出席。
 - （9月1日（土）10時～12時 牧野ヶ池緑地、14時～16時 平和公園
 - 2日（日）10時～12時 庄内緑地、14時～16時 小幡緑地）
- (2) 調査当日（10月6～8日）
 - <午前>
 - ア それぞれの調査地点にて参加者へ調査マニュアルを配布し、調査の目的・方法を説明。
 - イ 2時間程度、陸貝を採取。
 - ウ 参加者全員で陸貝の種類と数を簡易に確認。
 - <午後>
 - エ 採集した陸貝と調査地点の腐葉土をセンターに持ち込み、専門家により同定。
- (3) 調査後
各調査地点の結果を集計し、参加者へお知らせするとともに、協議会ウェブサイト等で公表。

8 調査結果

41種7,003個体の陸貝を発見。

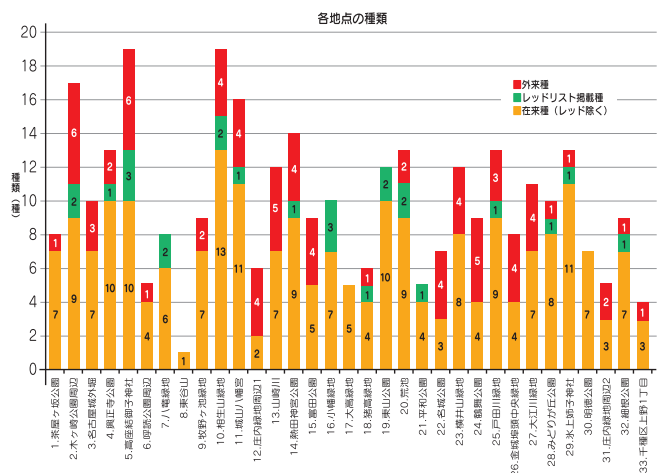
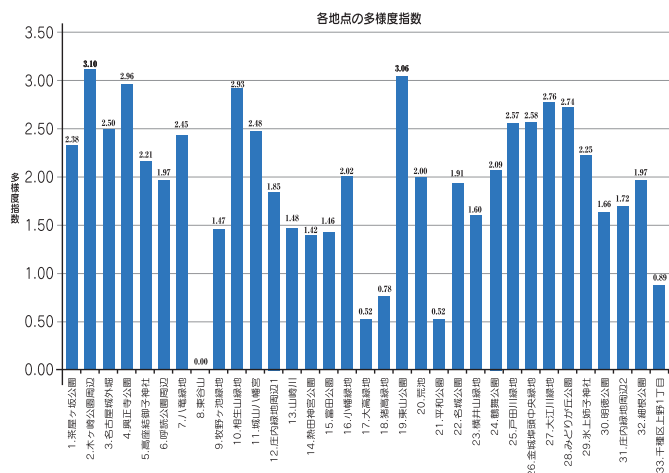
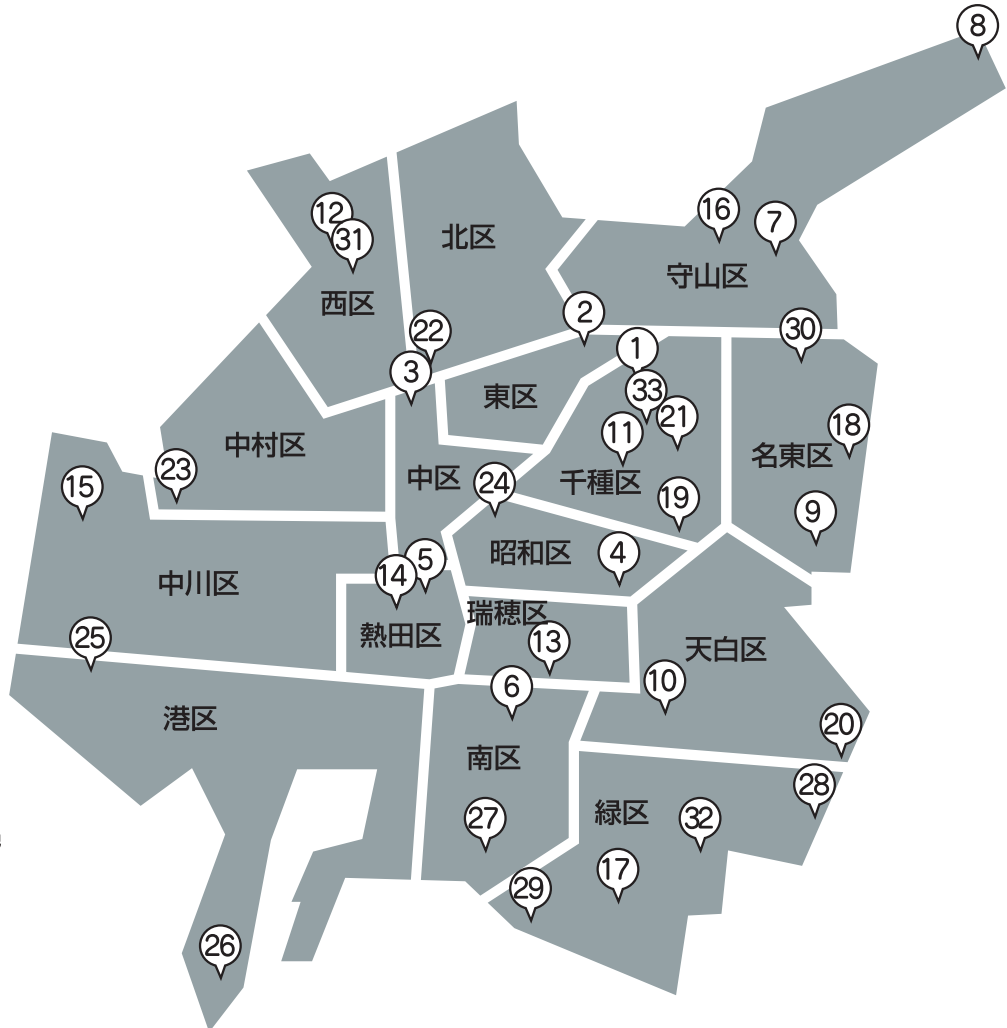
なごや生きものの一斉調査2012・陸貝編

ー なごやで探そう！ カタツムリ ー

調査地点一覧



- 1.茶屋ヶ坂公園
- 2.木ヶ崎公園周辺
- 3.名古屋城外堀
- 4.興正寺公園
- 5.高座結御子神社
- 6.呼読公園周辺
- 7.八竜緑地
- 8.東谷山
- 9.牧野ヶ池緑地
- 10.相生山緑地
- 11.城山八幡宮
- 12.庄内緑地周辺1
- 13.山崎川
- 14.熱田神宮公園
- 15.富田公園
- 16.小幡緑地
- 17.大高緑地
- 18.猪高緑地
- 19.東山公園
- 20.荒池
- 21.平和公園
- 22.名城公園
- 23.横井山緑地
- 24.鶴舞公園
- 25.戸田川緑地
- 26.金城埠頭中央緑地
- 27.大江川緑地
- 28.みどりが丘公園
- 29.氷上姉子神社
- 30.明德公園
- 31.庄内緑地周辺2
- 32.細根公園
- 33.千種区上野1丁目





各調査地点の特徴

1. 茶屋ヶ坂公園(千種区)

8種（市内平均9.85）70個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は2.38（市内平均1.95）でした。市内の平均に比べて種数がやや少なく多様性が高い結果となりました。種数が平均よりやや少ないにもかかわらず、多様度指数が平均より高い値を示したのは種間の個体数に極端な差がなかったからだと考えられます。外来種は**トクサオカチョウジガイ** 1種のみが生息していました。レッドリスト掲載種は発見されませんでした。名古屋市内からは記録の少ない**ヤクシマヒメベッコウ**（今回の調査では3地点のみ）が見つかりました。

2. 木ヶ崎公園周辺(東区)

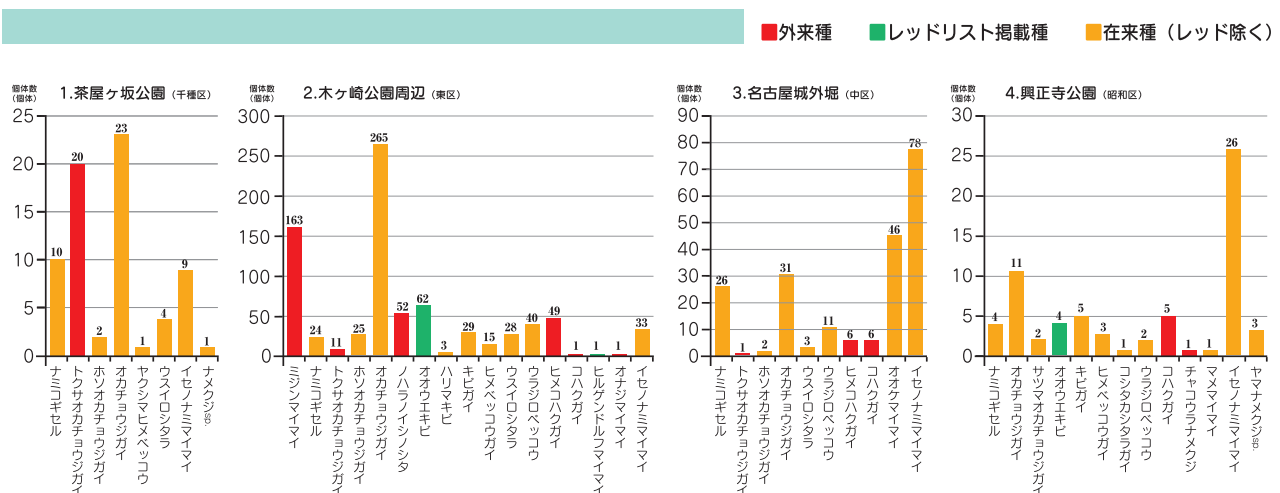
17種（市内平均9.85）802個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は、今回の調査で一番高い3.10（市内平均1.95）でした。種数、個体数、多様度指数ともに非常に高い値を示しました。一方で外来種も高座結御子神社(熱田区)と並び本調査最多の6種でした（**ミジンマイマイ**、**トクサオカチョウジガイ**、**ノハラノイシノシタ**、**ヒメコハクガイ**、**コハクガイ**、**オナジマイマイ**）。レッドリスト掲載種として、絶滅危惧ⅠBの稀少種**ヒルゲンドルフマイマイ**と**オオウエキビ**が発見されました。**オオウエキビ**は情報不足種(環境省)に指定されていますが、今回の調査では14地点も生息が確認されました。特に、木ヶ崎公園周辺では個体数が一番多く62個体も見つかっています。

3. 名古屋城外堀(中区)

10種（市内平均9.85）210個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は、2.50（市内平均1.95）でした。外来種は3種でしたが（**トクサオカチョウジガイ**、**ヒメコハクガイ**、**コハクガイ**）各種の個体数が少ないのが特徴です。絶滅危惧種などのレッドリスト掲載種は発見されませんでした。名古屋市内で唯一名古屋城外堀のみで確認された**オオケマイマイ**が多産するのは分布上とても重要です。**オオケマイマイ**は山地性種であり、山地や石灰岩地では多産することもあります。名古屋市内ではレッドリスト掲載種に該当するほどの価値がありそうです。

4. 興正寺公園(昭和区)

13種（市内平均9.85）68個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は2.96（市内平均1.95）でかなり高い値を示しました。外来種は**コハクガイ**と**チャコウラナメクジ**の2種が見つかりましたが個体数は多くありません。レッドリスト掲載種として情報不足種(環境省)の**オオウエキビ**が見つかりました。レッドリスト掲載種や外来種も含めて全体的に個体数が少ないものの、そのばらつきが少なく貝類相は比較的安定しています。





各調査地点の特徴

5. 高座結御子神社(熱田区)

19種（市内平均9.85）375個体の陸貝が見つかりました。本調査では相生山緑地(天白区)とならび市内最多の種数が記録されました。陸貝の多様性(多様度指数)は2.21（市内平均1.95）でした。種数が最多であるにもかかわらず多様度指数があまり大きくないのは、外来種の**コハクガイ**の個体数が極端に多いことが影響していると考えられます。外来種も木ヶ崎公園周辺(東区)と並び本調査最多の6種でした（**ミジンマイマイ**、**トクサオカチョウジガイ**、**ノハラノイシノシタ**、**ヒメコハクガイ**、**コハクガイ**、**チャコウラナメクジ**）。レッドリスト掲載種は、小幡緑地(守山区)と並んで本調査最多の3種（**ヒメカサキビ**、**オオウエキビ**、**ヒゼンキビ**）でした。特に**ヒゼンキビ**は名古屋市初記録であり準絶滅危惧種(環境省)に指定されています。**ヒゼンキビ**は本調査地点において最も貴重な発見です。

6. 呼続公園周辺(南区)

5種（市内平均9.85）50個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は1.97（市内平均1.95）でした。多様性は平均的ですが種数が少ないのが特徴的です。構成種は基本的に市街地性の種類です。外来種は**トクサオカチョウジガイ** 1種のみでレッドリスト掲載種は見つかりませんでした。

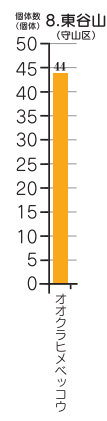
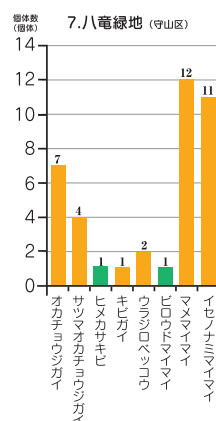
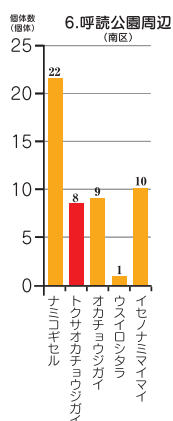
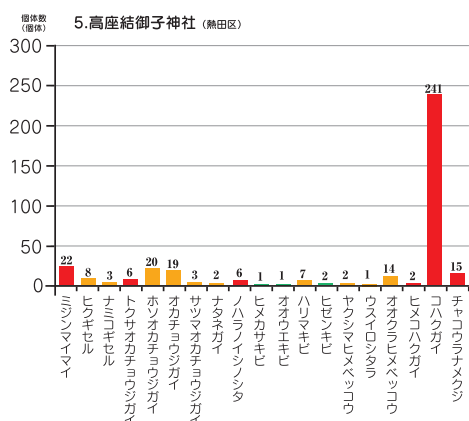
7. 八竜緑地(守山区)

8種（市内平均9.85）39個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は2.45（市内平均1.95）でした。外来種は発見されず、レッドリスト掲載種が2種（**ヒメカサキビ**、**ビロウドマイマイ**）が見つかりました。このうち**ビロウドマイマイ**は名古屋市初記録であり、情報不足種(環境省)に指定されています。山地性種であるため自然度が高い指標になります。今回の調査では本地点と小幡緑地(守山区)のみで発見されました。市内では守山区だけに生息しているようです。

8. 東谷山(守山区)

オオクラヒメベッコウ 1種のみが44個体見つかりました。他の種は見つかりませんでしたがおオオクラヒメベッコウの多くは生体で発見されました。汎世界的に分布を拡大しているオカチョウジガイの仲間が1個体も見つからなかったのは興味深い結果です。オカチョウジガイの仲間が全く見つからないのは今回の調査で本地点のみであり、外来種も見つからなかったこととも対応しています。

■外来種 ■レッドリスト掲載種 ■在来種（レッド除く）





各調査地点の特徴

9. 牧野ヶ池緑地(名東区)

9種（市内平均9.85）228個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は1.47（市内平均1.95）でした。種数は平均的ですが、ナミコギルの個体数が極端に多いことが多様度指数をやや低くした原因だと考えられます。外来種は**トクサオカチョウジガイ**と**コハクガイ**の2種が発見されました。レッドリスト掲載種は見つかりませんでした。ヤマナメクジ類（sp.）はナメクジよりはるかに大きいもののヤマナメクジとも異なります。したがって異なる外来種の可能性があります。

10. 相生山緑地(天白区)

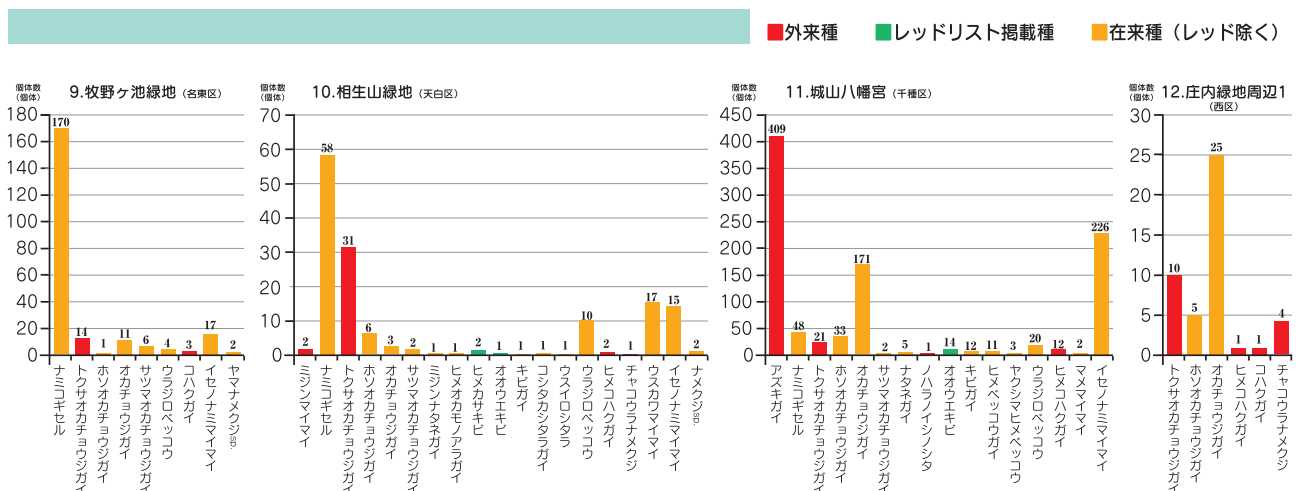
高座結御子神社(熱田区)とならび今回の調査で種数最多の**19種**（市内平均9.85）157個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)もかなり高く2.93（市内平均1.95）でした。市内の平均に比べて種数が多く多様性が高い結果となりました。外来種は、国内移入種（ミジンマイマイ）を含めて4種でした（**ミジンマイマイ**、**トクサオカチョウジガイ**、**ヒメコハクガイ**、**チャコウラナメクジ**）。また、レッドリスト掲載種は**ヒメカサキビ**と**オオウエキビ**の2種が見つかりました。このうち**ヒメカサキビ**は、本調査地以外では4地点でしか見つかっていません。

11. 城山八幡宮(千種区)

16種（市内平均9.85）990個体の陸貝が見つかりました。国内移入種の**アズキガイ**だけで409個体を確認しました。アズキガイは今回の調査では、城山八幡宮だけから見つかりました。市内では他に熱田神宮で記録されています。陸貝の多様性(多様度指数)は2.48（市内平均1.95）でした。国内移入種を含めた外来種は4種（**アズキガイ**、**トクサオカチョウジガイ**、**ノハラノイシノシタ**、**ヒメコハクガイ**）でした。レッドリスト掲載種は、**オオウエキビ**1種だけが14個体発見されました。民家の庭などにも生息する平地性のイセノナミマイマイが226個体も見つかりました。市内全域に分布している普通に見られる種類ですが、これだけの個体数が生息している場所は名古屋市内では少ないでしょう。

12. 庄内緑地周辺 1 (西区)

6種（市内平均9.85）46個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は1.85（市内平均1.95）でした。市内の平均に比べて種数が少ないにもかかわらず、種間での個体数のばらつきが小さかったため多様性は平均的な値となりました。特筆すべきは6種中に外来種が4種（**トクサオカチョウジガイ**、**ヒメコハクガイ**、**コハクガイ**、**チャコウラナメクジ**）も含まれていたことです。残る2種（**ホソオカチョウジガイ**、**オカチョウジガイ**）は在来種ですが、外来種的な要素の強い種類です。したがって庄内緑地周辺の構成種はもっとも都市化の進んだ市街地型の陸貝相といえます。





12種（市内平均9.85）515個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は1.48（市内平均1.95）でした。国内移入種を含めた外来種はやや多く、**ウスイロオカチグサ**、**ミジンマイマイ**、**トクサオカチョウジガイ**、**ヒメコハクガイ**、**コハクガイ**の5種を記録しました。市内の平均に比べて種数が多く多様性が低い結果となりました。国内移入種の**ウスイロオカチグサ**は既に名古屋市内の各地に分布を広げていると考えられますが、正式な記録は今回の一斉調査が初めてであり名古屋市内初記録です。今回の調査では山崎川の川原でしか見つかりませんでした。今後は生息地点数が増加するでしょう。

14種（市内平均9.85）468個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は1.42（市内平均1.95）でした。市内の平均に比べて種数が多く多様性が低い結果となりました。種数が平均より多いにもかかわらず、多様度指数が低い値を示したのはヒクギセルの個体数が結果に大きく影響したと考えられます。外来種は、国内移入種（ミジンマイマイ）を含めて4種でした（ミジンマイマイ、トクサオカチョウジガイ、ヒメコハクガイ、コハクガイ）。また、絶滅危惧種ⅠB類（名古屋市）の稀少種**ヒルゲンドルフマイマイ**が9個体も確認されたのは貴重な成果です。ヒクギセルは、静岡県以東、関東地方、伊豆諸島に分布しますが、飛び地分布として名古屋の熱田にも生息しています。名古屋市内は、飛び地の西限として生物地理的に興味深い分布地です。

9種（市内平均9.85）322個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は1.46（市内平均1.95）でした。種数は市内の平均とほぼ同じですが、多様性がやや低い結果となりました。ホソオカチョウジガイが市内最多の232個体発見されたことが特徴的でした。この極端に多い数値が多様度指数を若干低くしたと考えられます。外来種は4種でした（**ヒメコハクガイ、コハクガイ、チャコウラナメクジ、オナジマイマイ**）。**オナジマイマイ**は今回の調査では本調査地と木ヶ崎公園周辺(東区)でしか見つかりませんでした。残念ながらレッドリスト掲載種は見つかりませんでした。

10種（市内平均9.85）51個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性（多様度指数）は市内の平均とほぼ同じ2.02（市内平均1.95）でした。外来種は発見されず、レッドリスト掲載種が高座結御子神社（熱田区）とならんで3種も含まれていました。レッドリスト掲載種（**ヒメカサキビ**、**オオウエキビ**、**ピロウドマイマイ**）はいずれも1個体のみの発見でした。特に山地性種の**ピロウドマイマイ**は名古屋市初記録種であり、本地点と八竜緑地（守山区）のみで発見されました。多様度指数は平均的な値でしたが、外来種が見つからずレッドリスト掲載種の種数が一番多いという点では、市内で最も自然が豊かだと考えられます。



各調査地点の特徴

17. 大高緑地(緑区)

5種（市内平均9.85）184個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は平和公園(千種区)にならび市内で2番目に低い0.52（市内平均1.95）でした。種数が少なくナミコギセル以外の4種は数個体しか見つからなかったのに対して、ナミコギセルのみが桁違いに多く170個体も見つかったのが多様度指数を下げたと考えられます。レッドリスト掲載種は見つかりませんでした。外来種が全く見つからなかったのも特徴的です。ナミコギセルは乾燥にある程度耐性があるため、本地点が乾燥傾向にある指標となります。

18. 猪高緑地(名東区)

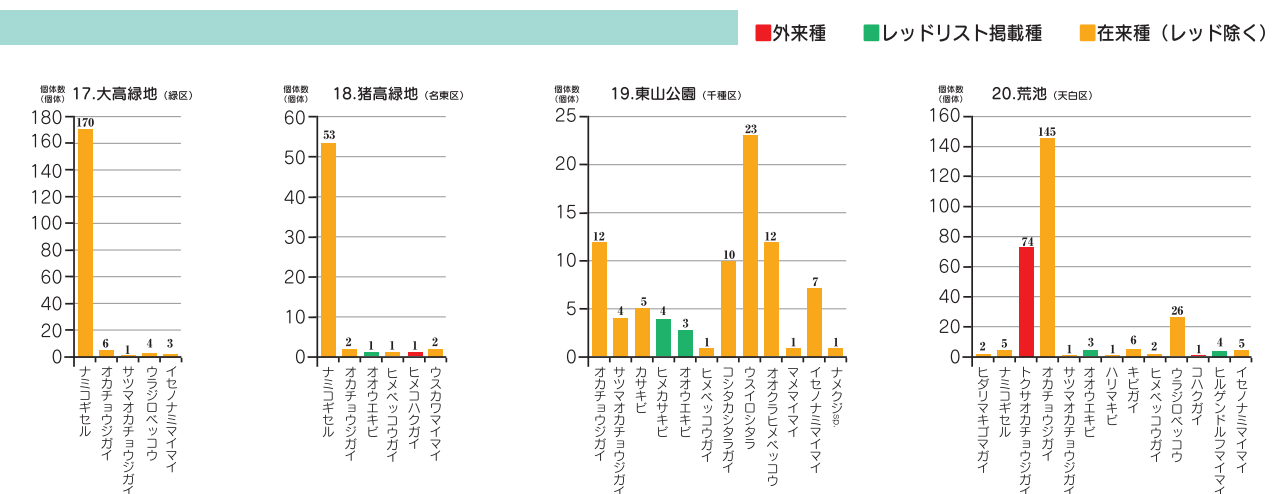
6種（市内平均9.85）60個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は0.78（市内平均1.95）でした。市内の平均に比べて種数が少なく多様性が低い結果となりました。ナミコギセルの個体数のみが卓越し、他の5種は1～2個体しか見つかりませんでした。その中に、外来種の**ヒメコハクガイ**とレッドリスト掲載種の**オオウエキビ**がそれぞれ1個体ずつ含まれていました。大高緑地(緑区)と同様に、陸貝の大敵である乾燥化が懸念されます。

19. 東山公園(千種区)

12種（市内平均9.85）83個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は2番目に高い3.06（市内平均1.95）でした。市内で最も多様度指数の高かった木ヶ崎公園周辺(東区)は、外来種の種数も最多でした。それに比べて本地点は外来種が見つからないのが特徴的です。発見された12種の個体数差も小さいことから多様度指数が大きな値となりました。発見されたレッドリスト掲載種は**ヒメカサキビ**と**オオウエキビ**です。4個体のみですが**ヒメカサキビ**は市内で最もたくさん見つかりました。

20. 荒池(天白区)

13種（市内平均9.85）275個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は2.00（市内平均1.95）でした。外来種は**トクサオカチヨウジガイ**と**コハクガイ**の2種でした。レッドリスト掲載種は、絶滅危惧ⅠB類（名古屋市）の稀少種**ヒルゲンドルフマイマイ**と情報不足種の**オオウエキビ**が見つかりました。特に興味深いのは、**ヒダリマキゴマガイ**が発見されたことです。本種は愛知県内の山地には多く生息していますが、名古屋市内では極めて珍しく限られた場所にしか生息していません。自然度の高い指標として注目できます。





各調査地点の特徴

21. 平和公園(千種区)

5種（市内平均9.85）149個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は大高緑地(緑区)にならび市内で2番目に低い0.52（市内平均1.95）でした。種数が少ないにも関わらずオオクラヒメベッコウのみが多産したため多様性が低い結果となりました。しかし外来種が見つからなかったことも特筆すべき点です。レッドリスト掲載種で情報不足種の**オオウエキビ**が見つかりました。

22. 名城公園(北区)

7種（市内平均9.85）86個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は市内平均とほぼ同じ1.91（市内平均1.95）でした。外来種は、国内移入種（**ミジンマイマイ**）を含めて4種でした（**ミジンマイマイ**、**トクサオカチョウジガイ**、**ヒメコハクガイ**、**コハクガイ**）。レッドリスト掲載種は発見されませんでした。多産すると予想していたナミコギセルは発見されず、イセノナミマイマイも1個体のみの発見でした。

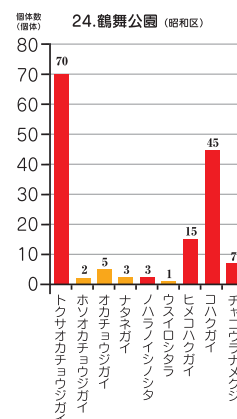
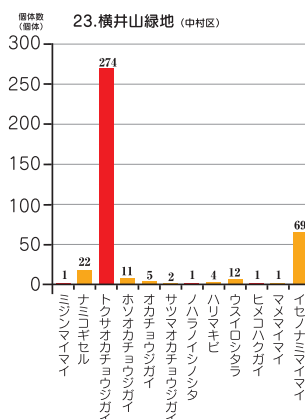
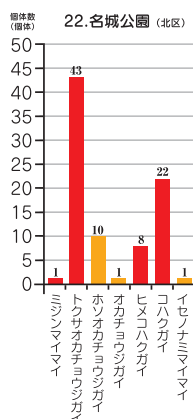
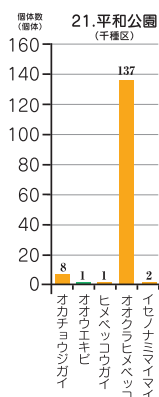
23. 横井山緑地(中村区)

12種（市内平均9.85）403個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は1.60（市内平均1.95）でした。外来種の**トクサオカチョウジガイ**が多産し、平地性種のイセノナミマイマイも比較的多く発見されました。他に各種1個体ずつだけですが、国内移入種の**ミジンマイマイ**、外来種の**ノハラノイシノシタ**と**ヒメコハクガイ**が見つかりました。レッドリスト掲載種は発見されませんでした。

24. 鶴舞公園(昭和区)

9種（市内平均9.85）151個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は2.09（市内平均1.95）でした。種数および多様度指数ともに市内の平均とほぼ等しい値を示しました。レッドリスト掲載種は発見されず、外来種は5種も確認できました（**トクサオカチョウジガイ**、**ノハラノイシノシタ**、**ヒメコハクガイ**、**コハクガイ**、**チャコウラナメクジ**）。構成種は市街地型の陸貝群集です。

■外来種 ■レッドリスト掲載種 ■在来種（レッド除く）



各調査地点の特徴

25. 戸田川緑地(港区)

13種（市内平均9.85）537個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は2.57（市内平均1.95）でした。ホソオカチョウジガイと国内移入種の**ミジンマイマイ**の個体数が多いのが特徴です。他に外来種は**ヒメコハクガイ**と**チャコウラナメクジ**が発見されました。**チャコウラナメクジ**は本調査で最多の30個体が見つかりました。在来種のナメクジが減少してヨーロッパ原産のチャコウラナメクジが分布を拡大しているようです。レッドリスト掲載種は情報不足種の**オオウエキビ**が見つかりました。なお、ウスカワマイマイは農作物害虫とも言われておりますが、今回の調査では本地点で最も多く見つかりました。

26. 金城埠頭中央緑地(港区)

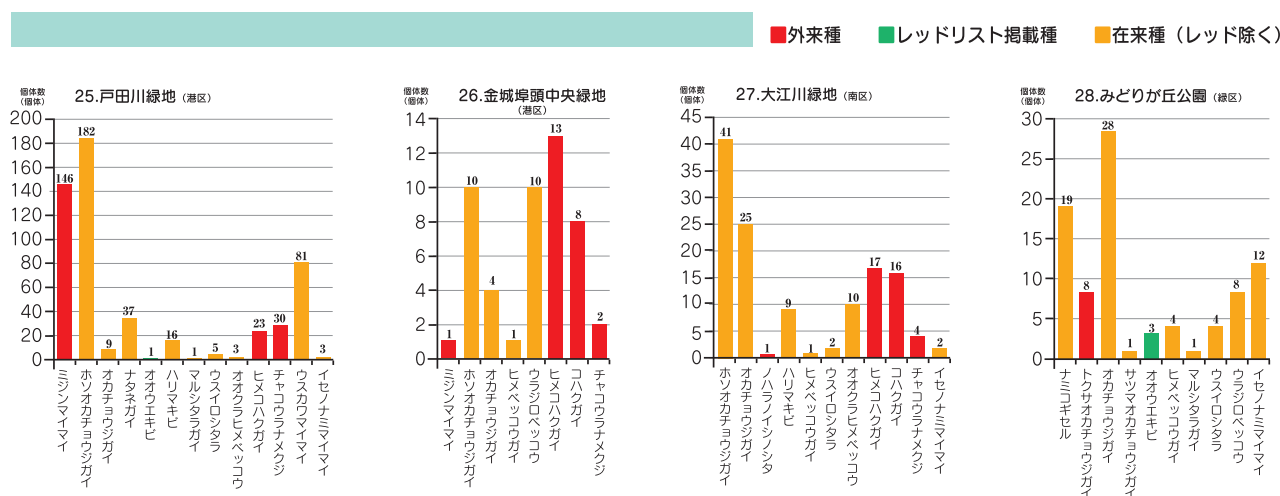
8種（市内平均9.85）49個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は2.58（市内平均1.95）でした。種数は平均よりやや少なく全種の5割もが外来種（**ミジンマイマイ**、**ヒメコハクガイ**、**コハクガイ**、**チャコウラナメクジ**）ですが、個体数のばらつきが小さいため多様度指数は比較的高い値を示しました。レッドリスト掲載種は発見されませんでした。

27. 大江川緑地(南区)

11種（市内平均9.85）128個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は2.76（市内平均1.95）でした。外来種は4種（**ノハラノイシノシタ**、**ヒメコハクガイ**、**コハクガイ**、**チャコウラナメクジ**）も含まれていましたが、個体数のばらつきが小さいため多様度指数はかなり高い値を示しました。レッドリスト掲載種は発見されませんでした。

28. みどりが丘公園(緑区)

10種（市内平均9.85）88個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は2.74（市内平均1.95）でした。平均的な種数でしたが、個体数のばらつきが小さいため多様度指数はかなり高い値を示しました。外来種は**トクサオカチョウジガイ**1種のみ発見されました。レッドリスト掲載種は情報不足種の**オオウエキビ**が見つかりました。





各調査地点の特徴

29. 氷上姉子神社(緑区)

13種（市内平均9.85）180個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は2.25（市内平均1.95）でした。ナミコギセルが多産したため多様度指数はあまり大きな値になりませんでした。外来種は**トクサオカチョウジガイ**が1個体だけ発見されました。レッドリスト掲載種は情報不足種の**オオウエキビ**が見つかりました。山地性種の**コシタカシタラ**も確認されました。

30. 明德公園(名東区)

7種（市内平均9.85）42個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は1.66（市内平均1.95）でした。市内の平均に比べ、種数および多様度指数ともに低い結果となりました。発見された総個体数も多くはありません。また外来種もレッドリスト掲載種も確認することが出来ませんでした。名古屋市内では極めて珍しい**ミジンヤマタニシ**が発見されました。**ミジンヤマタニシ**は山地性種であり名古屋市内ではごくわずかな限られた地点でしか確認されていません。本種が見つかるということは、更なる詳細な調査により珍しい種類を発見できるかもしれません。

31. 庄内緑地周辺2(西区)

5種（市内平均9.85）18個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は1.72（市内平均1.95）でした。レッドリスト掲載種は確認されず、外来種が2種発見されました（**トクサオカチョウジガイ**、**チャコウラナメクジ**）。構成種はもっとも都市化の進んだ市街地型の陸貝相を示しています。

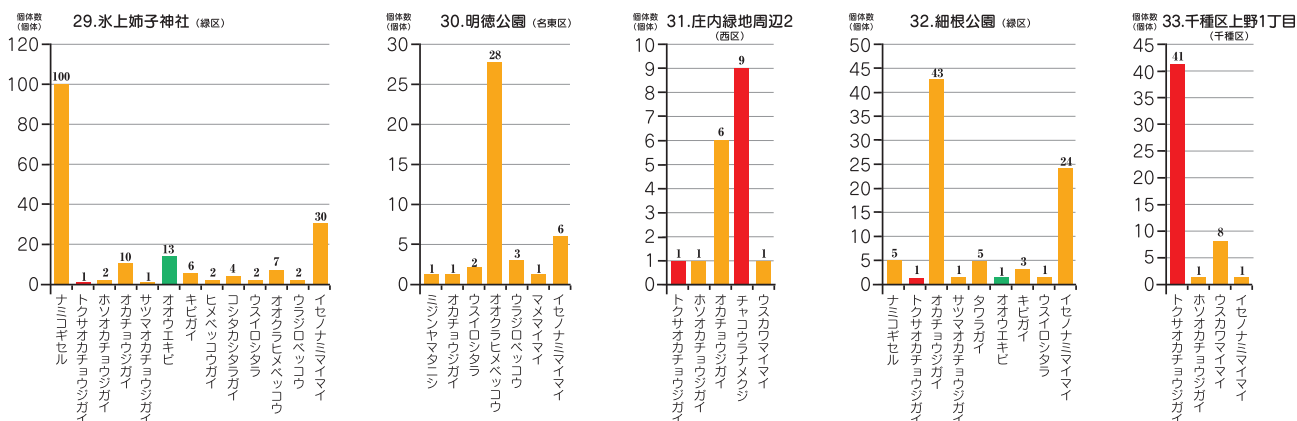
32. 細根公園(緑区)

9種（市内平均9.85）84個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は1.97（市内平均1.95）でした。外来種の**トクサオカチョウジガイ**とレッドリスト掲載種の**オオウエキビ**（情報不足種）が見つかりました。種数および多様度指数ともに平均的な値を示しましたが、特筆すべき点は、名古屋市初記録種の**タワラガイ**が見つかったことです。**タワラガイ**は山地性種ですので比較的自然度の高いところで見つかります。細根公園の自然が、長い間改変されずに守られてきた証拠であると考えます。

33. 千種区上野1丁目(千種区)

4種（市内平均9.85）51個体の陸貝が見つかりました。陸貝の多様性(多様度指数)は0.89（市内平均1.95）でした。種数が少なく外来種の**トクサオカチョウジガイ**のみの個体数がやや多かったために多様度指数は低い値となりました。レッドリスト掲載種は発見されませんでした。

■外来種 ■レッドリスト掲載種 ■在来種（レッド除く）





各種の解説

1. ミジンヤマタニシ *Nakadaella micron* (Pilsbry, 1900)

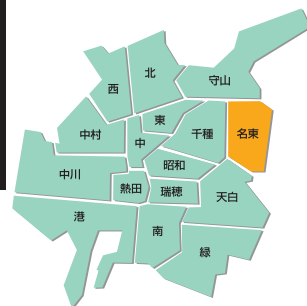
殻は微小で殻径2mmに満たないものがほとんどです。白く半透明で、殻表には滑らかな光沢があります。原始的な陸貝ですので、蓋を持っています。北海道から沖縄まで分布しますが、自然度の高い山間部などの落葉の下に多く生息します。自然度の低い市街地には生息しませんので、名

古屋市内で本種が見つかった場合は、その場所の自然度が高い証拠になります。名古屋市内での発見は極めて稀です。

〔発見場所〕：明徳公園(名東区)



撮影／市原 俊



2. アズキガイ *Pupinella (Pupinopsis) rufa* (Sowerby, 1864)

殻高10mm程度の赤紫褐色～深紅色の殻をもつ陸貝です。殻口は円く、口縁には1対の深い溝状の切込みがあります。殻表はなめらかでにぶい光沢があり「小豆」を連想させますが、色素退化型の白色個体も存在します。陸貝の中では原始的なタイプで円くて薄い蓋を持っています。もともと

本州（長野県以西）・四国・九州・対馬・トカラ列島（悪石島以北）・韓国（釜山，巨文島，済州島）など、主に西日本に局地的に分布していました。愛知県産の本種はすべて国内移入種です。落葉下や樹木の凹みなどに大量繁殖することがあります。

〔発見場所〕：城山八幡宮(千種区)



撮影／川瀬基弘



3. ヒダリマキゴマガイ *Palaina (Cylindropala) pusilla* (Martens, 1877)

殻は左巻で、殻高2mm程度の卵形をしています。表面には斜めの肋条があり、淡い黄色または橙色や白色です。日本各地に分布しますが、ミジンヤマタニシと同様に自然度の低い市街地には生息しませんので、名古屋市内で本種が見つかった場合は、その場所の自然度が高い証拠になります。

す。名古屋市内での発見は極めて稀です。

〔発見場所〕：荒池(天白区)



撮影／市原 俊



4. ウスイロオカチグサ *Paludinassiminea debilis* (Gould, 1859)

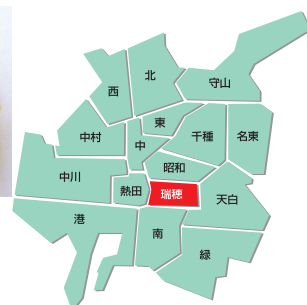
殻はやや高い塔形で殻高は6mm程度です。奄美諸島、沖縄永良部島、沖縄に分布する南方系の種ですが、近年は国内移入種として西日本の各地で確認されています。愛知県で

は2005に報告されていますが、名古屋市内からの正式な報告は今回が初めてとなります。

〔発見場所〕：山崎川(瑞穂区)



撮影／川瀬基弘





各種の解説

5. ミジンマイマイ *Vallonia pulchellula* (Heude, 1822)

「レッドデータブックなごや2010」で初めて名古屋市内（港区と東区）からの記録が報告されました。今回の一斉調査では9箇所で見つかりました。いずれの場所でも他の移入種とともに生息していることなどから、本種も移入種であると考えられます。さらに市内各地に広がって

ることも分かりました。レッドデータブックなごや2010では「情報不足種」として記録されましたが、近年市内各地に急速に広がっていることが今回の調査で分かりました。従って情報不足種が解除され「国内移入種」として位置づけられるべきと考えます。



撮影／川瀬基弘



〔発見場所〕：木ヶ崎公園周辺(東区)、高座結御子神社(熱田区)、相生山緑地(天白区)、山崎川(瑞穂区)、熱田神宮公園(熱田区)、横井山緑地(中村区)、名城公園(北区)、戸田川緑地(港区)、金城埠頭中央緑地(港区)

6. ヒクギセル *Stereophaedusa gouldi* (A.Adams, 1868)

殻はでっぴりとした紡錘形で黄褐色をしています。殻高は18mm程度で左巻きです。静岡県以東、関東地方、伊豆諸島に分布しますが、飛び地分布として名古屋の熱田にも生息しています。名古屋は飛び地の西限として生物地理的に興味深い分布地です。特に

熱田神宮公園の断夫山古墳では大きな個体群が確認されました。



撮影／川瀬基弘



〔発見場所〕：高座結御子神社(熱田区)、熱田神宮公園(熱田区)

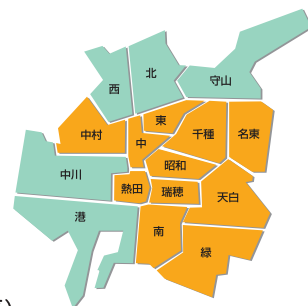
7. ナミコギセル *Euphaedusa tau* (Boettger, 1877)

殻高15mm程度で細長い紡錘形をしています。平地性のキセルガイ類で市内の神社、公園や耕作地などに広く分布しています。乾燥に強いので、市街地のような環境の悪い場所でも生息できます。市内の民家の庭などでも比較的良好に見つかります。朽木の下や落

葉間などに多く見られます。夏場の降雨時などには樹木やコンクリート壁を移動し高さ2m程度まで登るようです。今回の調査でも樹木の大人の背丈ほどの高さの位置に付着している個体が発見されています。



撮影／西尾和久



〔発見場所〕：茶屋ヶ坂公園(千種区)、木ヶ崎公園周辺(東区)、名古屋城外堀(中区)、興正寺公園(昭和区)、高座結御子神社(熱田区)、呼続公園周辺(南区)、牧野ヶ池緑地(名東区)、相生山緑地(天白区)、城山八幡宮(千種区)、山崎川(瑞穂区)、熱田神宮公園(熱田区)、大高緑地(緑区)、猪高緑地(名東区)、荒池(天白区)、横井山緑地(中村区)、みどりヶ丘公園(緑区)、氷上姉子神社(緑区)、細根公園(緑区)

8. トクサオカチョウジガイ *Paropeas achatinaceum* (Pfeiffer, 1846)

東南アジア原産の外来種で、日本各地に分布を拡大しています。オカチョウジガイに似ていますが、殻皮が黄土色を帯び光沢がないことで在来種

のオカチョウジガイと区別できます。市内全域に広く分布し、特に人為的改変の進んだ環境から多く発見されています。



撮影／川瀬基弘



〔発見場所〕：茶屋ヶ坂公園(千種区)、木ヶ崎公園周辺(東区)、細根公園(緑区)、名古屋城外堀(中区)、高座結御子神社(熱田区)、荒池(天白区)、呼続公園周辺(南区)、牧野ヶ池緑地(名東区)、名城公園(北区)、相生山緑地(天白区)、城山八幡宮(千種区)、鶴舞公園(昭和区)、庄内緑地周辺1(西区)、山崎川(瑞穂区)、熱田神宮公園(熱田区)、横井山緑地(中村区)、みどりヶ丘公園(緑区)、氷上姉子神社(緑区)、庄内緑地周辺2(西区)、千種区上野1丁目(千種区)





各種の解説

9. ホソオカチョウジガイ *Allopeas pyrgula* (Schmacker & Boettger, 1891)

殻高は10mm程度で薄質・半透明で淡黄白色の細長く塔形の殻をもちます。オカチョウジガイに似ていますが、著しく細長いことで区別できます。北海道～九州・朝鮮・台湾に分布し、北米東部にも移入されています。腐葉土の堆積した所に生息し、苗床など

に多数発生して、若芽を食害することがあります。従来の分布地ではない場所に移動させられ、移動先で定着したり繁殖しており、今後ますます分布を拡大する可能性が高いと考えられます。



撮影／川瀬基弘



〔発見場所〕：茶屋ヶ坂公園(千種区)、木ヶ崎公園周辺(東区)、名古屋城外堀(中区)、城山八幡宮(千種区)、高座結御子神社(熱田区)、牧野ヶ池緑地(名東区)、相生山緑地(天白区)、山崎川(瑞穂区)、庄内緑地周辺1(西区)、熱田神宮公園(熱田区)、富田公園(中川区)、名城公園(北区)、横井山緑地(中村区)、鶴舞公園(昭和区)、戸田川緑地(港区)、金城埠頭中央緑地(港区)、大江川緑地(南区)、氷上姉子神社(緑区)、庄内緑地周辺2(西区)、千種区上野1丁目(千種区)

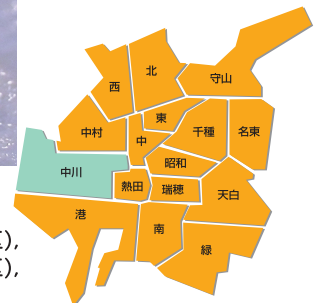
10. オカチョウジガイ *Allopeas clavulinum kyotoense* (Pilsbry & Hirase, 1904)

トクサオカチョウジガイに似ていますが、光沢があることで区別できます。北海道～九州に分布し、腐葉土中に多数生息していることがあります。従来の分布地ではない場所に移動させられ、移動先で

定着したり繁殖しています。トクサオカチョウジガイやホソオカチョウジガイと同様に、今後ますます分布を拡大する可能性が高いと考えられます。



撮影／川瀬基弘



〔発見場所〕：茶屋ヶ坂公園(千種区)、木ヶ崎公園周辺(東区)、名古屋城外堀(中区)、興正寺公園(昭和区)、高座結御子神社(熱田区)、呼続公園周辺(南区)、八竜緑地(守山区)、牧野ヶ池緑地(名東区)、相生山緑地(天白区)、城山八幡宮(千種区)、庄内緑地周辺1(西区)、山崎川(瑞穂区)、熱田神宮公園(熱田区)、小幡緑地(守山区)、大高緑地(緑区)、猪高緑地(名東区)、東山公園(千種区)、荒池(天白区)、平和公園(千種区)、名城公園(北区)、横井山緑地(中村区)、鶴舞公園(昭和区)、戸田川緑地(港区)、金城埠頭中央緑地(港区)、大江川緑地(南区)、みどりが丘公園(緑区)、氷上姉子神社(緑区)、明德公園(名東区)、庄内緑地周辺2(西区)、細根公園(緑区)

11. サツマオカチョウジガイ *Allopeas satsumense* (Pilsbry, 1906)

オカチョウジガイに似ていますが、螺層がより丸みをおび殻底(頸)が若干のびること

で区別できます。本州・九州・奄美大島に分布しています。



撮影／川瀬基弘



〔発見場所〕：興正寺公園(昭和区)、大高緑地(緑区)、八竜緑地(守山区)、牧野ヶ池緑地(名東区)、相生山緑地(天白区)、細根公園(緑区)、山崎川(瑞穂区)、東山公園(千種区)、城山八幡宮(千種区)、荒池(天白区)、横井山緑地(中村区)、みどりが丘公園(緑区)、氷上姉子神社(緑区)、高座結御子神社(熱田区)

12. タワラガイ *Sinoennea iwakawa* (Pilsbry, 1900)

昔の米俵に似た白色蛹形で微小な殻をもちます。本州、四国、九州に分布し、山地、丘陵地の腐葉土の堆積した所に生息します。今回の一斉調査により名古屋市内から初め

て発見されました。大型の陸貝の死殻の中から発見されることなどから腐肉食性の陸貝と考えられています。



撮影／川瀬基弘



〔発見場所〕：細根公園(緑区)





各種の解説

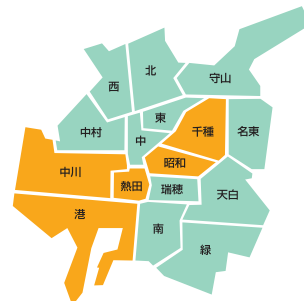
13. ナタネガイ *Punctum amblygonum* (Reinhardt, 1877)

殻は薄く微小で殻径は3mm あり体層周縁には鈍い角があり程度です。表面には細い肋が ります。

〔発見場所〕：城山八幡宮(千種区)、富田公園(中川区)、鶴舞公園(昭和区)、高座結御子神社(熱田区)、戸田川緑地(港区)



撮影／市原 俊



14. ミジンナタネガイ *Punctum atomus* Pilsbry & Hirase, 1904

殻は極めて薄く微小で殻径は1mm程度です。光沢があり鋭い密縦脈と細螺脈をもつが特徴です。北海道・松島・三宅島(伊豆)・西郷(模式産地)に分布しています。

〔発見場所〕：相生山緑地(天白区)



撮影／市原 俊



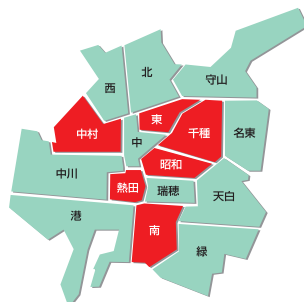
15. ノハラノイシノシタ *Helicodiscus (Hebetodiscus) inermis* Baker, 1929

殻高1mm、殻径2.2mmくらいの微小種です。ヒメコハクガイに似ていますが、ノハラノイシノシタの方が光沢が強く、臍孔が浅いことで区別できます。北アメリカ原産の外来種です。

〔発見場所〕：木ヶ崎公園周辺(東区)、城山八幡宮(千種区)、大江川緑地(南区)、高座結御子神社(熱田区)、横井山緑地(中村区)、鶴舞公園(昭和区)



撮影／市原 俊



16. ヒメオカモノアラガイ *Neosuccinea horticola* (Reinhardt, 1877)

殻高8mm程度で卵形、薄質半透明、淡黄～淡褐色をしています。体層が大きくて、殻高の3/4を占めて円みがあるのが特徴です。関東～中国・四国・九州・奄美・沖縄に分布しています、民家の庭園の石下や河畔などに生息しています。

〔発見場所〕：相生山緑地(天白区)、山崎川(瑞穂区)



撮影／西尾和久



17. カサキビ *Trochochlamys crenulata* (Gude, 1900)

殻は4mm程度、殻頂に円みがある円錐形をしています。本州～九州に分布し、落葉下に生息しています。名古屋市内の記録は少なく今回の一斉調査では3地点でしか見つかりませんでした。山地性種のため名古屋市内のような自然度の低い地域ではあまり見られません。

〔発見場所〕：熱田神宮公園(熱田区)、小幡緑地(守山区)、東山公園(千種区)



撮影／西尾和久





各種の解説

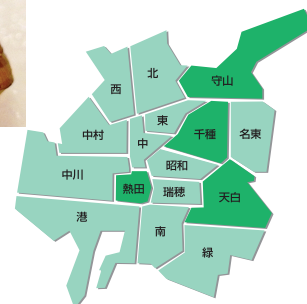
18. ヒメカサキビ *Trochochlamys subcrenulata* (Pilsbry, 1901)

殻は微小で3mm程度、淡い褐色で半透明をしています。前種カサキビより著しく低い円錐形の殻をもつのが特徴です。体層の周縁角は鋭く突起しています。本州・三宅島・八丈島・四国・九州に分布し、

リター層・落葉下などに生息しています。本種は山地性種であり、本種の生息は比較的自然度が高い指標になります。環境省の準絶滅危惧種に指定されています。



撮影／川瀬基弘



〔発見場所〕：高座結御子神社(熱田区)、八竜緑地(守山区)、相生山緑地(天白区)、小幡緑地(守山区)、東山公園(千種区)

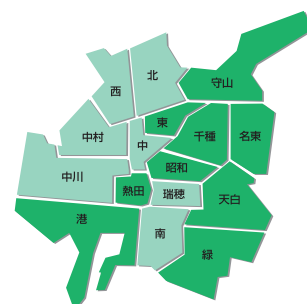
19. オオウエキビ *Trochochlamys fraterna* (Pilsbry, 1900)

殻は微小で3mm程度、淡い黄褐色で円味のある円錐形をしています。体層の周縁角は鋭く、殻底は緩やかな弧状と

なります。本州・四国・九州に分布していますが、環境省の情報不足種に指定されています。



撮影／西尾和久



〔発見場所〕：木ヶ崎公園周辺(東区)、興正寺公園(昭和区)、高座結御子神社(熱田区)、相生山緑地(天白区)、城山八幡宮(千種区)、小幡緑地(守山区)、猪高緑地(名東区)、東山公園(千種区)、荒池(天白区)、平和公園(千種区)、戸田川緑地(港区)、細根公園(緑区)、みどりが丘公園(緑区)、氷上姉子神社(緑区)

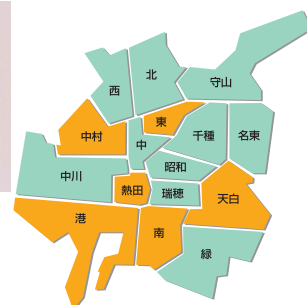
20. ハリマキビ *Parakaliella harimensis* (Pilsbry, 1901)

殻は3mm弱で円錐形の螺塔があり、薄質で光沢のない褐色をしています。各層は多少膨らみ、縫合は明かです。

本州、四国、九州の平地に分布しています。今回の調査では6地点で見つかりました。



撮影／川瀬基弘



〔発見場所〕：木ヶ崎公園周辺(東区)、高座結御子神社(熱田区)、荒池(天白区)、横井山緑地(中村区)、戸田川緑地(港区)、大江川緑地(南区)

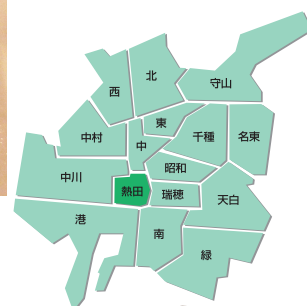
21. ヒゼンキビ *Parakaliella hizenensis* (Pilsbry, 1902)

殻径3mm程度の微小種。ハリマキビよりも体層が一回り小さく、ヒメハリマキビよりも丸みをおびることで区別で

きます。一斉調査により名古屋市内から初めて発見された山地性種です。



撮影／川瀬基弘



〔発見場所〕：高座結御子神社(熱田区)





各種の解説

22. キビガイ *Gastrodontella stenogyra* (A. Adams, 1868)

殻は2mm程度の円錐形でキビダンゴに似て各螺層がよく膨らんで殻底も丸いのが特徴です。微小な陸貝ですが、巻き数が多いので簡単に識別できます。本州、四国、九州、朝鮮に分布し、灌木の葉裏や落葉下に生息します。

〔発見場所〕：木ヶ崎公園周辺(東区)、興正寺公園(昭和区)、八竜緑地(守山区)、相生山緑地(天白区)、城山八幡宮(千種区)、熱田神宮公園(熱田区)、荒池(天白区)、氷上姉子神社(緑区)、細根公園(緑区)



撮影／西尾和久



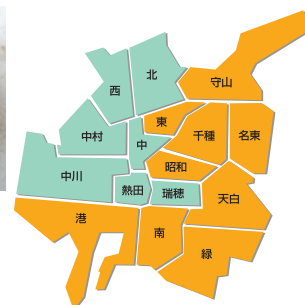
23. ヒメベッコウガイ *Discoconulus sinapidium* (Reinhardt, 1877)

殻は非常に小さく2mm弱でやや光沢がある黄褐色をしています。螺塔は偏平した円錐形です。本州・四国・九州・後島(福江)・屋久島・伊豆諸島に分布し、リター層や腐葉土中に生息しています。

〔発見場所〕：木ヶ崎公園周辺(東区)、興正寺公園(昭和区)、城山八幡宮(千種区)、小幡緑地(守山区)、猪高緑地(名東区)、東山公園(千種区)、荒池(天白区)、平和公園(千種区)、金城埠頭中央緑地(港区)、大江川緑地(南区)、みどりが丘公園(緑区)、氷上姉子神社(緑区)



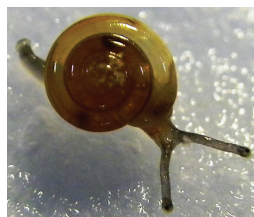
撮影／西尾和久



24. ヤクシマヒメベッコウ *Discoconulus yakuensis* (Pilsbry, 1902)

前種ヒメベッコウガイによく似ていますが、一回り大きく殻径2.5mm程度になります。ヒメベッコウよりも生息地がやや山地性といわれています。

〔発見場所〕：茶屋ヶ坂公園(千種区)、高座結御子神社(熱田区)、城山八幡宮(千種区)



撮影／川瀬基弘



25. コシタカシタラガイ *Coneuplecta (Sitalina) circumcincta* (Reinhardt, 1883)

殻は小さく2mm、淡い茶褐色で螺塔の高い円錐形をしています。螺層はわずかにふくれ、5～7条の螺状脈があります。本州・四国・九州・伊豆諸島・徳島・屋久島・沖縄に分布し、本調査では4地点で確認されました。

〔発見場所〕：興正寺公園(昭和区)、相生山緑地(天白区)、東山公園(千種区)、氷上姉子神社(緑区)



撮影／西尾和久



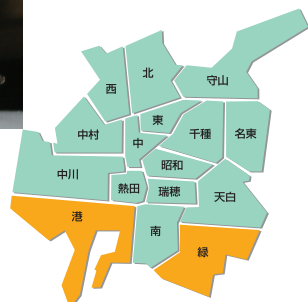
26. マルシタラガイ *Parasitala reinhardti* (Pilsbry, 1900)

殻は4mm程度、薄質半透明の淡黄色、卵形で螺塔は円錐形に高まります。本州～九州、屋久島に分布し、アオキなどの葉裏に付着しています。本種は春季から夏季にかけて成貝になると考えられています。

〔発見場所〕：戸田川緑地(港区)、みどりが丘公園(緑区)



撮影／西尾和久





各種の解説

27. ウスイロシタラガイ *Parasitala pallida* (Pilsbry, 1902)

前種マルシタラガイに似ていますが、胎殻付近に微細な布目状彫刻がないことなどで区別できます。前種とは対照

的に冬季にもっとも成長すると考えられています。



撮影／川瀬基弘



〔発見場所〕：茶屋ヶ坂公園(千種区)、木ヶ崎公園周辺(東区)、名古屋城外堀(中区)、高座結御子神社(熱田区)、呼続公園周辺(南区)、相生山緑地(天白区)、熱田神宮公園(熱田区)、富田公園(中川区)、小幡緑地(守山区)、東山公園(千種区)、横井山緑地(中村区)、鶴舞公園(昭和区)、戸田川緑地(港区)、大江川緑地(南区)、みどりが丘公園(緑区)、氷上姉子神社(緑区)、明德公園(名東区)、細根公園(緑区)

28. オオクラヒメベッコウ *Yamatochlamys lampra* (Pilsbry & Hirase, 1904)

殻は小さく扁平した輪状、殻表は滑らかで半透明な淡褐色で光沢があります。本州、四国、九州、種子島、口永良

部島、対馬に分布しています。名古屋市内では主に東部地域に生息しているようです。



撮影／川瀬基弘



〔発見場所〕：高座結御子神社(熱田区)、東谷山(守山区)、山崎川(瑞穂区)、山崎川(瑞穂区)、小幡緑地(守山区)、東山公園(千種区)、平和公園(千種区)、戸田川緑地(港区)、大江川緑地(南区)、氷上姉子神社(緑区)、明德公園(名東区)

29. ウラジロベッコウ *Urazirochlamys doenitzii* (Reinhardt, 1877)

市街地から山地まで広く分布し、殻の底面の中程が白くなるのが特徴的です。特に死んだ殻の方が殻の裏の白色が目立つようになります。殻は

やや小形で、殻高5mm、殻径10mm程度です。本州・四国・九州に分布しています。名古屋市内では市内全域に広く分布しています。



撮影／西尾和久



〔発見場所〕：木ヶ崎公園周辺(東区)、名古屋城外堀(中区)、荒池(天白区)、興正寺公園(昭和区)、八竜緑地(守山区)、大高緑地(緑区)、牧野ヶ池緑地(名東区)、相生山緑地(天白区)、城山八幡宮(千種区)、山崎川(瑞穂区)、熱田神宮公園(熱田区)、富田公園(中川区)、金城埠頭中央緑地(港区)、みどりが丘公園(緑区)、氷上姉子神社(緑区)、明德公園(名東区)

30. ヒメコハクガイ *Hawaiiia minuscula* (Binney, 1840)

北アメリカのオハイオ州が原産の外来種で、明治時代の中ごろに日本へ移入されて、現在では全国にひろく分布しています。殻高1.3mm、殻径2.3mmくらいの微小種です。殻は乳白色で光沢はありません。日本全国、台湾、アジア

大陸にも広く分布するとともに、北米、中米、西インド、アジアにも分布しています。多くは平地や市街地に分布し、名古屋市内ではほぼ全域から確認されています。



撮影／市原 俊



〔発見場所〕：木ヶ崎公園周辺(東区)、名古屋城外堀(中区)、高座結御子神社(熱田区)、相生山緑地(天白区)、城山八幡宮(千種区)、庄内緑地周辺1(西区)、山崎川(瑞穂区)、熱田神宮公園(熱田区)、富田公園(中川区)、猪高緑地(名東区)、名城公園(北区)、横井山緑地(中村区)、鶴舞公園(昭和区)、戸田川緑地(港区)、金城埠頭中央緑地(港区)、大江川緑地(南区)





各種の解説

31. コハクガイ *Zonitoides (Zonitoides) arboreus* (Say, 1816)

ヒメコハクガイと同様に北アメリカ原産の外来種で、北海道から台湾に分布しています。丘陵地から平野部の樹木の根元の腐葉土の堆積した所に生息しています。また、温室や庭園内の植木鉢の下などにも生息しています。殻高2mm、殻径5mm程度、小形、

黄茶褐色で光沢があります。明治時代、東京上野で発見されて以来、全国各地の庭園や圃場に生息し、種苗を害することがあります。前種のヒメコハクガイと同様に名古屋市内全域に分布が広がっています。



撮影／川瀬基弘



[発見場所]：木ヶ崎公園周辺(東区)、名古屋城外堀(中区)、荒池(天白区)、興正寺公園(昭和区)、高座結御子神社(熱田区)、牧野ヶ池緑地(名東区)、庄内緑地周辺1(西区)、山崎川(瑞穂区)、熱田神宮公園(熱田区)、富田公園(中川区)、名城公園(北区)、鶴舞公園(昭和区)、金城埠頭中央緑地(港区)、大江川緑地(南区)

32. チャコウラナメクジ *Lehmannia valentiana* (Ferussac, 1822)

体は中～大形で湿った天候の時は7～8cmに達します。背中に殻(こうら)を有します。茶褐色～灰褐色のゼラチン質で透明感があります。ヨーロッパ原産の外来種で、日本へ移入されて広がっています。

近年、東海地域の平地でみられるナメクジのほとんどは本種です。今回の一斉調査においてナメクジ類の中で一番多く発見されました。



撮影／西尾和久



[発見場所]：興正寺公園(昭和区)、高座結御子神社(熱田区)、相生山緑地(天白区)、庄内緑地周辺1(西区)、富田公園(中川区)、鶴舞公園(昭和区)、戸田川緑地(港区)、大江川緑地(南区)、金城埠頭中央緑地(港区)、庄内緑地周辺2(西区)

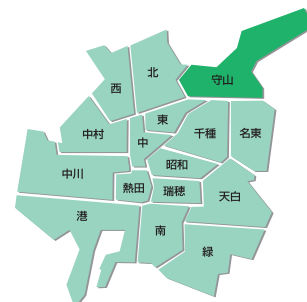
33. ビロウドマイマイ *Nipponochloritis oscitans* (Martens, 1881)

最近までトウカイビロウドマイマイと呼ばれていた種類です。殻高12mm、殻径17mm程度です。殻はやや球形で、黄褐色。殻表に短いビロード状の殻皮毛がやや密にあるのが特徴です。今回の一斉調査で名古屋から初めて

発見されました。山地性種であり朽ち木の内部や積み重なった倒木の裏側にいるため発見するのはやや困難です。八竜緑地(守山区)と小幡緑地公園(守山区)のみで少数個体が見つかりました。



撮影／西尾和久

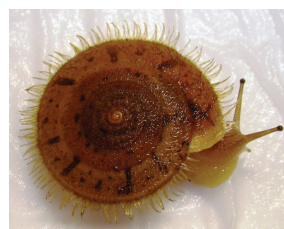


[発見場所]：八竜緑地(守山区)、小幡緑地(守山区)

34. オオケマイマイ *Aegista vulgivaga* (Schmacker & Boettger, 1890)

殻は低くて扁平なレンズ形をしています。殻色は黄褐色から鈍い褐色で、殻表に鱗片状の剛毛を放射状にもち臍孔は広くて深いのが特徴です。山地性種で、本州、四国に分布しており、石灰岩地などでは多産することもあります。しかし市街地などには分布せ

ず、名古屋市内の生息地は極めて貴重です。今回市内で唯一本種が発見された名古屋城外堀(中区)は、市内で最後に残されたオオケマイマイの楽園かもしれません。今後市内での生息が確認されなければレッドリストへの掲載を検討する必要があります。



撮影／川瀬基弘



[発見場所]：名古屋城外堀(中区)



各種の解説

35. マメマイマイ *Trishoplita commoda* (A. Adams, 1868)

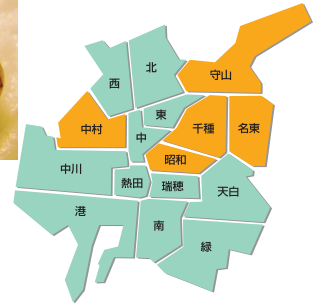
殻は薄く、小さい球状の円錐形。赤味のある黄褐色をしています。エンドウマイマイやエンドウマメマイマイとも呼ばれています。本州、主に近畿、北陸に分布します。

次種ヒルゲンドルフマイマイほど大きくありません、名古屋市内では主に北東部に記録が集中しています。



撮影／川瀬基弘

〔発見場所〕：興正寺公園(昭和区)、八竜緑地(守山区)、城山八幡宮(千種区)、小幡緑地(守山区)、東山公園(千種区)、横井山緑地(中村区)、明德公園(名東区)



36. ヒルゲンドルフマイマイ *Trishoplita bilgendorfi* (Kobelt, 1879)

名古屋市内では極めて珍しい絶滅危惧IB類の稀少種です。マメマイマイに似ていますが、それよりも大きいことで区別できます。殻はやや大きく、殻高8mm、殻径12mm程度。名古屋市内では熱田神宮に生息

することが知られていましたが、今回の調査により木ヶ崎公園周辺(東区)、熱田神宮公園(熱田区)、荒池(天白区)でも発見されました。個体数は各地とも多くはありません。



撮影／川瀬基弘

〔発見場所〕：木ヶ崎公園周辺(東区)、熱田神宮公園(熱田区)、荒池(天白区)



37. ウスカワマイマイ *Acusta despecta sieboldiana* (Pfeiffer, 1850)

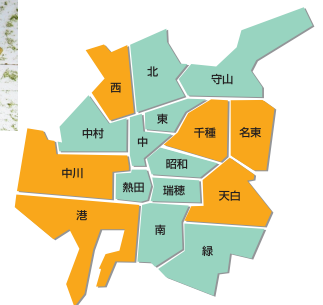
殻は薄くて丸く、大きく広い円形の殻口をもちます。殻高20mm、殻径25mm。北海道南部～南九州までの日本全国と朝鮮南部に分布しています。人々のくらしとともに移動して分布を広げています。

やや乾燥に強く、都市部での環境に適応できるという性質をもっていますが、自然のよく残っている場所にはあまり生息しません。作物を食害します。



撮影／西尾和久

〔発見場所〕：相生山緑地(天白区)、富田公園(中川区)、猪高緑地(名東区)、戸田川緑地(港区)、庄内緑地周辺2(西区)、千種区上野1丁目(千種区)



38. オナジマイマイ *Bradybaena similaris* (Ferussac, 1831)

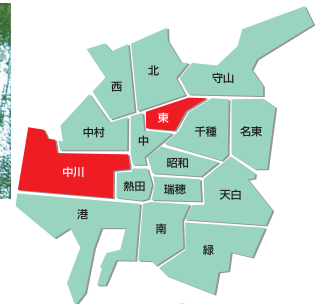
殻はうすく半透明で広い円錐形をしています。殻高10mm、殻径15mm。殻色は黄白または赤褐色で、周縁に黒褐色の色帯の入る個体があります。江戸時代に東南アジアから来た外来種で、現在は

ほぼ日本全国に分布しています。市街地など都市型環境に良く適応しています。今回の調査ではあまり発見されませんでした。



撮影／西尾和久

〔発見場所〕：木ヶ崎公園周辺(東区)、富田公園(中川区)





各種の解説

39. イセノナミマイマイ *Euhadra eoa communisiformis* Kanamaru, 1940

ヒラマイマイ *Euhadra eoa* (Crosse, 1868) の地方型で、東海、濃尾平野、伊勢志摩、滋賀、京都などに主に平野部に分布しています。螺塔がヒラマイマイより高くなることで区別できます。名古屋

市内全域に広く分布し、公園、雑木林、耕作地、民家周辺、河川敷などで確認されています。東海地域において最も普通に見られる大型マイマイです。



撮影／西尾和久



〔発見場所〕：茶屋ヶ坂公園(千種区)、木ヶ崎公園周辺(東区)、名古屋城外堀(中区)、興正寺公園(昭和区)、呼続公園周辺(南区)、八竜緑地(守山区)、牧野ヶ池緑地(名東区)、相生山緑地(天白区)、城山八幡宮(千種区)、熱田神宮公園(熱田区)、小幡緑地(守山区)、大高緑地(緑区)、東山公園(千種区)、荒池(天白区)、平和公園(千種区)、名城公園(北区)、横井山緑地(中村区)、戸田川緑地(港区)、大江川緑地(南区)、みどりが丘公園(緑区)、氷上姉子神社(緑区)、明德公園(名東区)、細根公園(緑区)、千種区上野1丁目(千種区)

40. ナメクジsp. *Meghimatium* sp. ? *bilineata*

体長は、50mm前後で、ナメクジ *Meghimatium bilineata* に似ていますが、ナメクジは一般に灰色であるのに対して本種は茶褐色をしています。

ナメクジの個体変異か或いは異なる外来種の可能性も考えられます。



撮影／川瀬基弘

〔発見場所〕：茶屋ヶ坂公園(千種区)、相生山緑地(天白区)、東山公園(千種区)



41. ヤマナメクジsp. *Meghimatium* sp. ? *fruhstorferi*

体長は、10cm程度かそれ以上に大きくなります。茶黒褐色で、ヤマナメクジ *Meghimatium fruhstorferi* のように背上の中央の黒い縦列斑点が見られないことでヤマナメクジと区別

しました。外来種の可能性も考えられます。



撮影／西尾和久

〔発見場所〕：興正寺公園(昭和区)、牧野ヶ池緑地(名東区)



No.	和 名	学 名	1. 茶屋ヶ坂公園 (千種区)	2. 木ヶ崎公園周辺 (東区)	3. 名古屋城外堀 (中区)	4. 興正寺公園 (昭和区)	5. 高座結御子神社 (熱田区)	6. 呼続公園周辺 (南区)	7. 八竜緑地 (守山区)	8. 東谷山 (守山区)	9. 牧野ヶ池緑地 (名東区)	10. 相生山緑地 (天白区)	11. 城山\幡宮 (千種区)	12. 庄内緑地周辺1 (西区)	13. 山崎川 (瑞穂区)	14. 熱田神宮公園 (熱田区)	15. 冨田公園 (中川区)	16. 小幡緑地 (守山区)	17. 大高緑地 (緑区)	18. 猪高緑地 (名東区)	19. 東山公園 (千種区)	20. 荒地 (天白区)
1.	ミジンヤマタニシ	<i>Nakadaella micron</i> (Pilsbry, 1900)																				
2.	▲アズキガイ	<i>Pupinella (Pupinopsis) rufa</i> (Sowerby, 1864)																				
3.	ヒダリマキゴマガイ	<i>Palaina (Cylindropala) pusilla</i> (Martens, 1877)											409									2
4.	▲★ウスイロオカチグサ	<i>Paludinassiminea debilis</i> (Gould, 1859)													40							
5.	▲※ミジンマイマイ	<i>Vallonia pulchellula</i> (Heude, 1822)		163			22				2				3	3						
6.	ヒクギセル	<i>Stereophaedusa gouldi</i> (A.Adams, 1868)					8								367							
7.	ナミコギセル	<i>Euphaedusa tau</i> (Boettger, 1877)		24	26	4	3	22			170	58			5	16			170	53		5
8.	▲トクサオカチョウジガイ	<i>Paropeas achatinaceum</i> (Pfeiffer, 1846)	10	11	1		6	8			14	31	48	10	381	7						74
9.	ホソオカチョウジガイ	<i>Allopeas pyrgula</i> (Schmacker & Boettger, 1891)	20	25	2		20				1	6	21	5	20	2	232					
10.	オカチョウジガイ	<i>Allopeas clavulinum kyotoense</i> (Pilsbry & Hirase, 1904)	2	265	31	11	19	9	7		11	3	33	25	45	25		14	6	2	12	145
11.	サツマオカチョウジガイ	<i>Allopeas satsumense</i> (Pilsbry, 1906)	23			2	3		4		6	2	171		4				1		4	1
12.	★タワラガイ	<i>Sinoennea iwakawa</i> (Pilsbry, 1900)											2									
13.	ナタネガイ	<i>Punctum amblygonum</i> (Reinhardt, 1877)					2										3					
14.	ミジンナタネガイ	<i>Punctum atomus</i> Pilsbry & Hirase, 1904										1	5									
15.	▲ノハラノイシノシタ	<i>Helicodiscus (Hebetodiscus) inermis</i> Baker, 1929		52			6															
16.	ヒメオカモノアラガイ	<i>Neosuccinea borticola</i> (Reinhardt, 1877)									1	1		2								
17.	カサキビ	<i>Trochoblamys crenulata</i> (Gude, 1900)													1			1			5	
18.	●ヒメカサキビ	<i>Trochoblamys subcrenulata</i> (Pilsbry, 1901)					1		1		2							1			4	
19.	■オオウエキビ	<i>Trochoblamys fraterna</i> (Pilsbry, 1900)		62		4	1				1	14						1		1	3	3
20.	ハリマキビ	<i>Parakaliella barimensis</i> (Pilsbry, 1901)		3			7															1
21.	●★ヒゼンキビ	<i>Parakaliella bizenensis</i> (Pilsbry, 1902)					2															
22.	キビガイ	<i>Gastrodontella stenogyra</i> (A. Adams, 1868)		29		5			1		1				2							6
23.	ヒメベッコウガイ	<i>Discoconulus sinapidium</i> (Reinhardt, 1877)		15		3							12					1		1	1	2
24.	ヤクシマヒメベッコウ	<i>Discoconulus yakuensis</i> (Pilsbry, 1902)	1				2						11									
25.	コシタカシタラガイ	<i>Coneuplecta (Sitalina) circumcincta</i> (Reinhardt, 1883)				1						1	3								10	
26.	マルシタラガイ	<i>Parasitula reinhardti</i> (Pilsbry, 1900)																				
27.	ウスイロシタラ	<i>Parasitula pallida</i> (Pilsbry, 1902)	4	28	3		1	1			1					1	4	1			23	
28.	オオクラヒメベッコウ	<i>Yamatoclamys lampra</i> (Pilsbry & Hirase, 1904)					14		44						1			27			12	
29.	ウラジロベッコウ	<i>Urazirocllamys doenitzii</i> (Reinhardt, 1877)		40	11	2		2			4	10			3	6	1		4			26
30.	▲ヒメコハクガイ	<i>Hawaiiia minuscula</i> (Binney, 1840)		49	6		2					2	20	1	2	1	24			1		
31.	▲コハクガイ	<i>Zonitoides (Zonitoides) arboreus</i> (Say, 1816)		1	6	5	241				3		12	1	9	15	42					1
32.	▲チャコウラナメクジ	<i>Lebmannia valentiana</i> (Ferussac, 1822)					1	15				1		4			4					
33.	■★ヒロウドマイマイ	<i>Nipponocloritis oscitans</i> (Martens, 1881)							1									1				
34.	オオクマイマイ	<i>Aegista vulgivaga</i> (Schmacker & Boettger, 1890)			46																	
35.	マメマイマイ	<i>Trisboplita commoda</i> (A. Adams, 1868)				1			12									1			1	
36.	●ヒルゲンドルフマイマイ	<i>Trisboplita bilgendorfi</i> (Kobelt, 1879)		1									2			9						4
37.	ウスカワマイマイ	<i>Acusta despecta sieboldiana</i> (Pfeiffer, 1850)										17					9			2		
38.	▲オナジマイマイ	<i>Bradybaena similaris</i> (Ferussac, 1831)		1												3						
39.	イセノナミマイマイ	<i>Eubadra eoa communisiformis</i> Kanamaru, 1940	9	33	78	26		10	11		17	15	226			13		3	3		7	5
40.	ナメクジsp.	<i>Meghimatium</i> sp.? <i>bilineata</i>	1									2									1	
41.	ヤマナメクジsp.	<i>Meghimatium</i> sp.? <i>frubstorferi</i>				3					2											
		個体数	70	802	210	68	375	50	39	44	228	157	990	46	515	468	322	51	184	60	83	275
		種数	8	17	10	13	19	5	8	1	9	19	16	6	12	14	9	10	5	6	12	13
		多様度指数	2.38	3.10	2.50	2.96	2.21	1.97	2.45	0.00	1.47	2.93	2.48	1.85	1.48	1.42	1.46	2.02	0.52	0.78	3.06	2.00
		RDB掲載種の種数	0	2	0	1	3	0	2	0	0	2	1	0	0	1	0	3	0	1	2	2
		外来種の種数	1	6	3	2	6	1	0	0	2	4	4	4	5	4	4	0	0	1	0	2
No.	●：RDB掲載種（希少種）、▲：外来種（国内移入も含む）、■：情報不足種、★：名古屋市新記録種、※：情報不足であったが市内各地で発見されたので国内移入種として扱った。	1. 茶屋ヶ坂公園 (千種区)	2. 木ヶ崎公園周辺 (東区)	3. 名古屋城外堀 (中区)	4. 興正寺公園 (昭和区)	5. 高座結御子神社 (熱田区)	6. 呼続公園周辺 (南区)	7. 八竜緑地 (守山区)	8. 東谷山 (守山区)	9. 牧野ヶ池緑地 (名東区)	10. 相生山緑地 (天白区)	11. 城山\幡宮 (千種区)	12. 庄内緑地周辺1 (西区)	13. 山崎川 (瑞穂区)	14. 熱田神宮公園 (熱田区)	15. 冨田公園 (中川区)	16. 小幡緑地 (守山区)	17. 大高緑地 (緑区)	18. 猪高緑地 (名東区)	19. 東山公園 (千種区)	20. 荒地 (天白区)	

No.													合計	地点数	レッドリスト			外来種・移入種	
															環境省	愛知県	名古屋市		
1.														1	1				
2.														409	1				国内移入種
3.														2	1				
4.														40	1				国内移入種・奄美/沖縄
5.			1	1		146	1							342	9			情報不足（DD）	国内移入種
6.														375	2				
7.				22				19	100			5		760	18				
8.			43	274	70			8	1		1	1	41	1023	20				国外外来種・東南アジア
9.			10	11	2	182	10	41		2		1		608	20				
10.	8	1	5	5	9	4	25	28	10	1	6	43		969	30				
11.				2				1	1			1		34	14				
12.												5		5	1				
13.					3	37								50	5				
14.														1	1				
15.				1	3			1						64	6				国外外来種・北アメリカ
16.														3	2				
17.														7	3				
18.														9	5	準絶滅危惧（NT）			
19.	1				1			3	13			1		109	14	情報不足（DD）			
20.				4		16		9						40	6				
21.														2	1	準絶滅危惧（NT）			
22.									6			3		65	9				
23.	1					1	1	4	2					43	12				
24.														6	3				
25.									4					16	4				
26.					1			1						2	2				
27.				12	1	5		2	4	2	2		1	96	18				
28.	137				3		10		7	28				283	10				
29.						10		8	2	3				152	16				
30.			8	1	15	23	13	17						177	16				国外外来種・北アメリカ
31.			22		45		8	16						415	14				国外外来種・北アメリカ
32.					7	30	2	4			9			77	10				国外外来種・ヨーロッパ
33.														2	2	情報不足（DD）			
34.														46	1				
35.				1						1				19	7				
36.														14	3	準絶滅危惧（NT）	準絶滅危惧（NT）	絶滅危惧ⅠB（EN）	
37.						81					1		8	118	6				
38.														4	2				国外外来種・東南アジア
39.	2	1	69		3		2	12	30	6		24	1	606	24				
40.														4	3				
41.														5	2				
	149	86	403	151	537	49	128	88	180	42	18	84	51	7003					
	5	7	12	9	13	8	11	10	13	7	5	9	4	9.85					
	0.52	1.91	1.60	2.09	2.57	2.58	2.76	2.74	2.25	1.66	1.72	1.97	0.89	1.95					
	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0.76					
	0	4	4	5	3	4	4	1	1	0	2	1	1	2.39					
No.													合計	地点数	レッドリスト			外来種・移入種	
															環境省	愛知県	名古屋市		
21. 平和公園（千種区）																			
22. 名城公園（北区）																			
23. 横井山緑地（中村区）																			
24. 鶴舞公園（昭和区）																			
25. 戸田川緑地（港区）																			
26. 金城埠頭中央緑地（港区）																			
27. 大江川緑地（南区）																			
28. みどりが丘公園（緑区）																			
29. 氷上姉子神社（緑区）																			
30. 明徳公園（名東区）																			
31. 庄内緑地周辺2（西区）																			
32. 細根公園（緑区）																			
33. 千種区上野1丁目（千種区）																			

協力スタッフ一覧

敬称略

日程	No.	区	地点名	協力団体	調査リーダー	サブリーダー	専門家
10/6 (土)	1	千種	茶屋ヶ坂公園		岡村 祐里子	鬼頭 洋子	
	2	東	木ヶ崎公園周辺		鬼頭 保		村瀬 文好
	3	中	名古屋城外堀	名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち	安田 和代	村上 信泰・渡邊 芳治 小池 宏和	川瀬 基弘
	4	昭和	興正寺公園	八事里山づくりの会	棚瀬 愛子	大津 慎一 鵜飼 憲輔	河邊 訓受
	5	熱田	高座結御子神社		榊原 靖		
	6	南	呼読公園周辺	呼続公園自然観察会	萩原 育男	浅井 照枝	
	7	守山	八竜緑地	水源の森と八竜湿地を守る会	柴田 美子	日下部 康彦	
	8	守山	東谷山	守山リス研究会	北山 克己	香田 佳那	
	9	名東	牧野ヶ池緑地	牧野ヶ池緑地自然観察会	巾 賢治	森川 初美 伊藤 昌子	
	10	天白	相生山緑地	相生山緑地自然観察会 相生山緑地オアシスの森くらぶ	近藤 記巳子	大館 学	守谷 茂樹
	11	千種	城山八幡宮	もりづくり会議	長谷川 泰洋	舩橋 泰彦	村瀬 文好
10/7 (日)	12	西	庄内緑地周辺1		山田 律子	佐久間 淑章	
	13	瑞穂	山崎川	山崎川グリーンマップ	山上 隆三	大矢 美紀	
	14	熱田	熱田神宮公園		近藤 記巳子		川瀬 基弘
	15	中川	富田公園		榊原 靖		
	16	守山	小幡緑地	愛知守山自然の会	石原 則義	窪田 富夫	
	17	緑	大高緑地	大高緑地湿地の会	谷 幹雄	大主 順一 関上 裕文	
	18	名東	猪高緑地	名東自然観察会	堀田 守	鹿島 湧太	
	19	千種	東山公園	東山自然観察会	滝田 久憲	森 光宏	守谷 茂樹
	20	天白	荒池	荒池ふるさとクラブ	高橋 久志	櫻井 廣二	
	21	千種	平和公園	なごや東山の森づくりの会	滝川 正子	吉田 雅紀	
	22	北	名城公園	名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち	安田 和代	上村 信泰	
10/8 (月)	23	中村	横井山緑地		鬼頭 保		
	24	昭和	鶴舞公園		近藤 記巳子	西 史江	
	25	港	戸田川緑地	戸田川みどりの夢くらぶ	佐久間 周平	安井 教夫	守谷 茂樹
	26	港	金城埠頭中央緑地		榊原 靖		
	27	南	大江川緑地		眞弓 浩二	野中 賢輔	村瀬 文好
	28	緑	みどりが丘公園		研谷 厚	柘植 実	
	29	緑	氷上姉子神社		池地 幸子	森山 徳雄	川瀬 基弘
	30	名東	明德公園	明德緑地自然観察会	布目 均	妹尾 瑤子 久村 三重子	
	31	西	庄内緑地周辺2	前津児童館	恒川 美千代		
	32	緑	細根公園	細根公園愛護会	宮嶋 愛子		
	33	千種	千種区上野1丁目				
10/6 (土)				24			